

5. 喉頭がん

○

○:専門とするがん ×:診療を実施していないがん
 ※別紙5に入力した内容が反映されています。
 ※診療を実施していないがんについて、表の記載は不要

集学的治療・標準的治療の提供体制
 ○:あり ×:なし

○

当該疾患の診療を担当している診療科名と医師数			治療の実施状況 (○:実施可/×:実施不可) / 昨年の実績 (あり/なし) ※平成25年1月1日～12月31日							各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ					
主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を専門としている医師数	手術		化学療法	放射線療法			ページの見出しとアドレス ※トップページ以外を2つまで記載してください ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください		掲載されている内容					
			摘除術	再建術		体外照射	IMRT	小線源治療			治療内容	治療実績	医師の専門分野			
1	耳鼻咽喉科	2	2	状況	○	×	○	×	×	×	悪性腫瘍に対しては外科的治療(手術)、化学療法、放射線治療を行っております。なお、再建術が必要な場合等には、より高次医療の可能な病院と連携して対応いたします。	ア	http://www.irosakahosp.jp/outpatient/jibi.html	掲載あり	掲載あり	掲載あり
				実績	あり	なし	なし	なし	なし	なし			イ	http://		
2	放射線科	2	1	状況	×	×	×	○	×	×	放射線治療は、がんに対する集学的治療として他の診療科と連携しながら実施します。	ア	http://www.irosakahosp.jp/outpatient/ho_shasen.html	掲載あり	掲載なし	掲載あり
				実績	なし	なし	なし	あり	なし	なし			イ	http://		
3				状況								ア	http://			
				実績								イ	http://			
4				状況								ア	http://			
				実績								イ	http://			
5				状況								ア	http://			
				実績								イ	http://			

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日～12月31日	例:、喉頭がん
	声門がん、声帯がん